

製品安全データシート (SDS)

作成日 2018.09.11.

1: 物質/混合物および企業情報

1) 製品名 アケミ ワックス 白・黒 (Solid Wax)

品目番号: 11900 (白), 11905 (黒)

1.2 物質または混合物の関連する特定用途および 使用に対して勧告された使用
関連情報はありません。

2) 製造業者/供給者情報

製造元/供給元 AKEMI chemisch technische Spezialfabrik GmbH

製造元住所 Lechstrasse D90451 Nurnberg deuchland

製造担当部門 AKEMI 研究部

3) 供給者/販売情報

供給元/販売元 藤栄株式会社

住所 〒587-0944 大阪府東大阪市若江西新町 4-5-25

担当部署 業務部

TEL 06-6725-5236

FAX 06-6725-3366

2: 危険有害性の確認

・ 2.1 物質または混合物の分類

・ 規制 (EC) No 1272/2008 に基づく分類



GHS08 健康に有害

Carc. 2 H351 発がん性の疑いがある



GHS09 環境汚染

Aquatic Chronic 2 H411 長期影響で水生生物に有害



GHS07

Skin Irrit. 2 H315 皮膚炎症を引き起こす

Eye Irrit. 2 H319 眼に炎症を引き起こす

Skin Sens. 1 H317 皮膚にアレルギー反応を引き起こす場合がある

STOT SE3 H336 眠気やめまいを引き起こす場合がある

・ 2.2 ラベル要素

- ・ 規制に基づく表示

(EC) No 1272/2008

この製品は CLP 規制に従って分類されています。

- ・ 危険ピクトグラム



GHS07



GHS08



GHS09

- ・ シグナルワード 危険
- ・ ラベルの決定する危険成分： テトラクロロエチレン
- ・ ハザード・ステートメント
 - H315 皮膚炎症を引き起こす
 - H319 眼に炎症を引き起こす
 - H317 皮膚にアレルギー反応を引き起こす場合がある
 - H351 発がん性の疑いがある
 - H336 眠気やめまいを引き起こす場合がある
 - H411 長期影響により水生生物に有害
- ・ 注意事項
 - P101 医療的アドバイスが必要な場合は、製品の容器またはラベルを持参して下さい。
 - P102 子供の手の届かないところに保管してください。
 - P103 使用前にラベルをお読みください。
 - P261 蒸気を吸い込まないでください。
 - P273 環境に排出しないでください。
 - P280 保護手袋/服/眼鏡/保護マスクを着用してください。
 - P302+P352 皮膚接触した場合、たっぷりの水で洗い流してください。
 - P305+P351+P338 眼に入った場合、水で数分間しっかり洗い流してください。コンタクトレンズがあれば、取り外してすすぎ続けてください。
 - P312 気分が優れない場合は POISON CENTER/医師に連絡してください。
 - P333+P313 皮膚炎症もしくは発疹が出た場合は医師の指示を仰いでください。
 - P403+P233 容器をしっかり密閉し、換気の良い、涼しい場所に保管してください。
 - P405 密閉して保管してください。
 - P501 内容物、容器は地域の規制に従って処分してください。
- ・ 2.3 その他の危険有害性
 - ・ PBT および vPvB 評価の結果

- ・ PBT：適応なし
- ・ vPvB：適応なし

3：成分の組成/情報

・ 3.2 化学的特性：混合物

- ・ 説明： 下記の混合物は危険な添加物は含まれません。

- ・ 危険成分：

CAS：127-18-4

EINECS：204-825-9

インデックス番号：602-028-00-4

登録番号：01-2119475329-28

テトラクロロエチレン

50-100%



Carc. 2, H351 発がん性の疑い



Aquatic Chronic 2, H411 水性慢性



Skin Irrit 2, H315 皮膚炎症; Eye Irrit 2, H319 目炎症; Skin Sens. 1, H317 皮膚

感作; STOT SE 3, H336 特定の方の器官に有毒

CAS：8002-74-2

EINECS：232-315-6

パラフィン

25-50%

公共の現場では暴露限界がある物質

- ・ 追加情報：記載されている危険フレーズの表現については、第 16 章を参照のこと。

4：応急処置

・ 4.1 応急措置の説明

- ・ 一般情報：

製品によって汚れた衣服は直ちに取り除いてください。

- ・ 吸入後：

影響を受けた人を新鮮な空気を供給し、必ず医者に連絡してください。

- ・ 皮膚接触後：

直ちに水と石鹼で洗い、しっかりと流してください。

- ・ 目の接触後：

流水で数分間水をすすいでください。医師に相談してください。

- ・嚥下後：

症状が続く場合は医者にご相談してください。

・ 4.2 急性および慢性の最も重要な症状と効果

有効な関連情報はありません。

・ 4.3 即時の医療的配慮と特別な治療が必要な表示

有効な関連情報はありません。

5：消防措置

・ 5.1 消火剤

- ・適切な消火剤：CO₂、消火パウダー、水スプレー。大きい火災の場合は水スプレーもしくは消化器で消火してください。

・ 5.2 物質または混合物から発生する特別な危険 有効な関連情報はありません。

・ 5.3 消防士への情報

- ・保護器具：必要な保護器具はありません。

6：漏出時の措置

・ 6.1 人体に対する注意事項、保護装置および緊急処置

必要な保護措置、緊急処置はありません。

・ 6.2 環境に対する注意事項：

製品が下水道/地表または地下水に流れ出ないようにしてください。

流れ出た場合は各当局に知らせてください。

・ 6.3 処理方法について：

液体結合物質（砂、珪藻土、酸結合剤、ユニバーサル バインダー、おがくず）で吸収してください。

製品がかかったものの廃棄は、第 13 章を参照してください。

作業場の換気をよくしてください。

・ 6.4 その他の参照：

安全な取り扱いについては、第 7 章を参照してください。

個人用保護具の情報については、第 8 章を参照してください。

廃棄に関する情報については、第 13 章を参照してください。

7：取扱いと保管

・ 7.1 安全な取扱いに関する注意事項

作業場の換気を確保してください。

- ・火災に関する情報 - 爆発防止：

特に必要な措置はありません。

・ 7.2 安全な保管と不適切な保管条件について、

- ・ 保管 :
- ・ 保管場所と保管容器の条件 : 特に必要な条件はありません。
- ・ 共通保管施設の保管情報 : 特に情報ははありません。
- ・ 保管に関する詳細情報 : 特に情報ははありません。
- ・ **7.3 特定の最終用途** 関連情報ははありません。

8 : 暴露防止/保護措置

- ・ 技術設備の設計についての追加情報 :
それ以上のデータはありません。項目 7 を参照してください。

・ 8.1 制御パラメータ

- ・ 作業場で監視が必要な制限値のある成分 :

127-18-4 テトラクロロエチレン

WEL 短期値 : 275mg/m³, 40ppm
 長期値 : 138mg/m³, 20ppm
 Sk

8002-74-2 パラフィン

WEL 短期値 : 6mg/m³
 長期値 : 2mg/m³

・ DNELs

127-18-4 テトラクロロエチレン

| | | |
|----|---------------------------|---------------------------------|
| 口腔 | DNEL(Langzeit-wiederholt) | 1.3mg/kg bw/day (BEV) |
| 皮膚 | DNEL(Langzeit-wiederholt) | 39.4mg/kg bw/day (ARB) |
| | | 23mg/kg bw/day (BEV) |
| 吸入 | DNEL(Kurzzeit-akut) | 275mg/m ³ Air (ARB) |
| | DNEL(Langzeit-wiederholt) | 138mg/m ³ Air (ARB) |
| | | 34.5mg/m ³ Air (BEV) |

・ PNECs

127-18-4 テトラクロロエチレン

PNEC (wassrig) 11.2mg/l (KA)
 0.0051mg/l (MW)
 0.051mg/l (SW)

PNEC (fest) 0.01mg/kg Trockengew (BO)
 0.0903mg/kg Trockengew (MWS)
 0.903mg/kg Trockengew (SWS)

- ・ 追加情報 : 製造中に有効なリストを基に使用されました。
- ・ **8.2 暴露防止**

- 個人用保護具：
- 一般保護および衛生対策：
 - 食品、飲料、飼料から離してください。
 - 汚染した衣類は直ちに脱いでください。
 - 休憩前、作業後は手を洗ってください。
 - ガス/煙/エアゾルを吸い込まないでください。
- 呼吸保護：
 - 短期フィルター機器
 - フィルターA/P2
 - 短期暴露や低汚染の場合は呼吸フィルターを着用し、長期暴露や強汚染の場合は呼吸保護機を着用してください。
- 手の保護：
 - 皮膚保護剤の使用による予防的な皮膚保護が推奨されています。
 - 手袋を着用した後、皮膚洗浄剤および皮膚化粧品を塗布する。
 - 皮膚保護の為、保護剤と手袋の併用を推奨します。
 - STOKO EMULSION (<http://www.stoko.com>)
 - 皮膚保護の為、製品取扱い後の皮膚洗浄を推奨します。
 - Kresto Classic (<http://www.debstoko.com>)
 - 皮膚保護の為、アフターケアに保護剤の使用を推奨します。
 - STOKO VITAN (<http://www.stoko.com>)
 - 使用する保護手袋は、それぞれ指令 89/686 / EC および指令 EN374 例：上記の保護手袋の種類に適合しなければならない。
 - 実験室の範囲内で生成された浸透時間のデータや推奨される保護手袋タイプの材料サンプルを用いて確認されたデータは EN374 に準拠した会社 KCL GmbH が分析する。
 - この勧告は、アケミが提供する物質安全性データシートおよび指定された適用分野のみを指します。製品希釈または異なる物質または化学物質との混合物の場合、EN374 の逸脱の状態では、CE 承認の保護手袋の製造業者に連絡して詳細情報を入手する必要があります（KCL GmbH、ドイツ、36124 Eichenzell、インターネット：<http://www.kcl.de>）。
 - 保護手袋
 - 保護手袋の素材は製品/成分/調合に不浸透性、耐性のあるものでなければならない。
 - 製品/成分/調合/化学混合物への耐性テストがされていない手袋素材は推奨できません。
 - 保護手袋素材を選ぶにあたり、浸透時間や拡散速度、劣化を考察する。
- 手袋の素材
- 適切な手袋の選択は、素材だけでなく品質のマークも考察します。

手袋素材への浸透や耐性は事前に調べておく必要があります。

- ・手袋の材料の浸透時間

正確な破壊時間は、メーカーによって事前に明確にする必要があります。

- ・目の保護：しっかりとゴーグルでふさぐ

9：物理的および化学的性質

・9.1 基本的な物理的および化学的特性に関する情報

- ・一般情報
- ・外観：
形：ペースト状
色：白（乳白色） 黒（黒色）
- ・匂い：特徴的
- ・変化の条件
融点/融点範囲：未定。
沸点/沸点範囲：121°C
- ・引火点：>61°C
- ・発火温度：>300°C
- ・自動点火温度：本品は自動点火しません。
- ・爆発の危険性：爆発の危険性はありません。
- ・20°Cにおける蒸気圧：19hPa
- ・20°Cでの密度：1.4 g/cm³
- ・水への溶解性/混和性：水に混和しない、混ざりにくい
- ・粘度：
動的：未定。
キネマティック：未定
- ・溶媒含有量：
有機溶媒：70.0%
- ・固体含有量：4.8%

・9.2 その他の情報 関連情報はありません。

10：安定性および反応性

・10.1 反応性 関連情報はありません。

・10.2 化学的安定性

- ・熱分解/避けるべき条件：仕様に従って使用された場合は分解しない。

・10.3 危険な反応の可能性 危険な反応はありません。

・10.4 避けるべき条件 関連情報はありません。

・10.5 混触危険物質 関連情報はありません。

- ・ 10.6 危険有害な分解成分 危険有害な分解成分はありません。

11：毒物学的情報

・ 11.1 毒物学的作用に関する情報

- ・ 急性毒性 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされない。
- ・ 分類に関連する LD / LC50 値：

127-18-4 テトラクロロエチレン

| | |
|--------------|------------------------------|
| 口腔 LD50 | 3,005mg/kg (rat) |
| 吸引 LC50/4 時間 | 4,000mg/m ³ (rat) |
- ・ 一次刺激作用：
- ・ 皮膚腐食性/刺激性
皮膚炎症を引き起こす。
- ・ 重大な眼の損傷/刺激
重大な眼の炎症を引き起こす
- ・ 呼吸器感作または皮膚感作
アレルギー反応を引き起こす事がある。
- ・ CMR 効果（発がん性、変異原性および生殖毒性）
- ・ 生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされない。
- ・ 発がん性 発がん性の疑いがある。
- ・ 生殖毒性 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされない。
- ・ STOT - 一回暴露 眠気やめまいを引き起こす事がある。
- ・ STOT - 反復暴露 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされない。
- ・ 吸引の危険 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされない。

12：生態学的情報

・ 12.1 毒性

- ・ 水生生物毒性：

127-18-4 テトラクロロエチレン

| | |
|------------|-----------------------------|
| EC50/48 時間 | 8.5mg/l (daphnia magna) |
| LC50/96 時間 | 5mg/l (Oncorhynchus mykiss) |

- ・ 12.2 持続性と分解性 利用可能な関連情報はありません。
- ・ 12.3 生物濃縮の可能性 利用可能な関連情報はありません。
- ・ 12.4 土壌中の移動性 利用可能な関連情報はありません。
 - ・ 生態有毒作用：
 - ・ 備考：魚に有毒
 - ・ その他の生態学的情報：
 - ・ 一般的な注意事項：

水性生物に有害、また魚やプランクトンに有毒。

水危険有害性クラス 3（ドイツの規制）（自己評価）：水に非常に有害

本品は少量であっても地下水、水路または下水道システムに到達しないようにしてください。

万一少量でも流出した場合は飲み水も危険となります。

• 12.5 PBT および vPvB 評価の結果

- PBT：適用なし
- vPvB：適用なし

• 12.6 その他の悪影響 関連情報はありません。

13：廃棄上の注意

• 13.1 廃棄物処理法

- 推奨事項
家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。製品を地下水、水路または下水道システムに到達しないようにしてください。
- 清潔でない包装：
- 推奨事項：地域の規制に従って廃棄してください。

14：輸送情報

• 14.1 UN 番号

- ADR、IMDG、IATA UN1897

• 14.2 UN 正式輸送名

- ADR 1897 テトラクロロエチレン、溶剤、環境に危険
- IMDG テトラクロロエチレン、溶剤、海洋汚染
- IATA テトラクロロエチレン、溶剤

• 14.3 輸送危険有害性クラス (es)

- ADR



- クラス 6.1(T1)有毒物質
- ラベル 6.1

- IMDG



- クラス 6.1 有毒物質
- ラベル 6.1

- ・ IATA



- ・ クラス 6.1 有毒物質
- ・ ラベル 6.1
- ・ 14.4 パッキンググループ
 - ・ ADR、IMDG、IATA III
- ・ 14.5 環境有害性： 本品は環境に有害な物質が入っています。
 - ・ 海洋汚染物： シンボル（魚と木）
 - ・ 特別マーク（ADR）： シンボル（魚と木）
- ・ 14.6 特別な予防措置 警告： 有毒物質
 - ・ 危険コード（ケムラー）： 60
 - ・ EMS 番号： F-A, S-A
 - ・ 分別グループ 液体ハロゲン化炭化水素
 - ・ 積載カテゴリー A
 - ・ 積載コード SW2 住居には持ち込まない
- ・ 14.7 マルポールと IBC コードの Annex II に従って一括輸送
 - 適応なし
 - ・ 輸送/追加情報：
 - ・ ADR
 - ・ 数量限定（LQ） 5L
 - ・ 例外数量（EQ） コード： E1
 - 個包装の最大量： 30ml
 - 外包装の最大量： 1000ml
 - ・ 輸送カテゴリー 2
 - ・ トンネル規制コード E
 - ・ IMDG
 - ・ 数量限定（LQ） 5L
 - ・ 例外数量（EQ） コード： E1
 - 個包装の最大量： 30ml
 - 外包装の最大量： 1000ml
 - ・ 国連「モデル規制」：
 - UN1897 テトラクロロエチレン、溶剤、6.1、III、環境に危険

15：規制に関する情報

- ・ 15.1 物質または混合物に特有の安全、健康および環境規制/法規

- 指令 2012/18 / EU
- 命名された危険物質-付属書 I
どの成分もリストにはありません。
- Seveso カテゴリー
E2 水性生物に有害
- 下位層の適用要件の適格量（トン） 200 トン
- 上位層の適用要件の適格量（トン） 500 トン
ANNEX XVII 規制（EC） No1907/2006 規制の条件：3
- 国内規制：
- 使用制限情報：
青少年、妊婦、授乳中の方の使用は避けてください。
- ウォーターハザード・クラス：
水危険性クラス 3（自己評価）：水に非常に危険
- VOC EU 980.0g/l
- **15.2 化学物質安全性の評価**：化学物質安全性評価は実施されていない。

16：その他の情報

この情報は現在の知識に基づいています。ただし、これは特定の製品機能の保証を構成するものではなく、法的に有効な契約上の関係を確立するものではありません。

- 関連フレーズ
H315 皮膚炎症を引き起こす
H317 アレルギー反応を引き起こす事がある
H319 目に炎症を引き起こす
H336 眠気やめまいを引き起こす事がある
H351 発がん性の疑いがある
H411 長期影響により水生生物に有害
- 推奨使用制限
テクニカルデータシート（TDS）を参照してください。
- SDS 発行部門：研究室
- 連絡先：Dieter Zimmermann
- 略語と頭字語：
ADR：道路に沿った危険物の国際運送に関する欧州合意（欧州合意）
IMDG：危険物に関する国際海上コード
IATA：国際航空運送協会
GHS：化学物質の分類と表示の世界調和システム
EINECS：既存の商業化学物質の欧州インベントリ

ELINCS : 通知された化学物質の欧州リスト

CAS : ケミカルアブストラクトサービス (アメリカ化学協会の部門)

DNEL : 導出無毒性量

PNEC : 予測無影響濃度

LC50 : 致死濃度 50%

LD50 : 致死量 50%

PBT : 持続性、生物濃縮性および有毒性

vPvB : 非常に持続性があり、非常に生物濃縮性が高い

Skin Irrit. 2 : 皮膚炎症-区分 2

Eye Irrit. 2 : 重大な眼の損傷/炎症-区分 2

Skin Sens. 1 : 皮膚感作-区分 1

Carc. 2 : 発がん性-区分 2

STOT SE 3 : 特定の方の器官に有毒(一回暴露)-区分 3

Aquatic Chronic 2 : 水生環境に有害-長期水生ハザード-区分 2

情報源 REACH 指令 1907/2006/EC

- *以前のバージョンと比較したデータが変更されました。

REACH 指令 1907/2006 / EC による適合